



THE MAGIC
OF ROTARY

ロータリーのマジック

2024～25年度テーマ



中村ロータリークラブ

例会記録 (2024～2025)

会 長/嶋 村 晃

幹 事/山 崎 隆 之

会報委員長/大 塚 和 助

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2829

第2960回 令和7年3月26日(晴れ)

本日のプログラム：会員スピーチ 小松昭二会員

4月2日(水)：ゲストスピーチ 高原祥有様 カルチュア・エクスペリエンス(株)

4月9日(水)：地区研修・協議会 報告

【会長挨拶】嶋村 晃会長

公園のぼんぼりにも火が灯り、いよいよ春本番という風情になって参りました。私中学生の頃、お花見の片付けをするアルバイトをしていました。朝公園に上ってお掃除をするのですが、当時ゴミに交じってお金を見つけることが良くありました。ある日一緒のバイト仲間がなんと一万円札を発見したのです。

それからは、みんな目の色を変えてお掃除に励んだのですが、とうとうその後は一万円札はおろか千円札すら見つかることはできませんでした。

毎年公園のぼんぼりを見ると、あの頃の悔しい気持ちが思い起こされます。

【幹事報告】山崎 隆之幹事

- ・ガバナー事務所より「風のたより」配信
- ・米山梅吉記念館より 館報春号拝受
- ・四万十市民憲章推進協議会より
春の交通安全運動の街頭指導協力依頼
4/7(月) 7:40～8:20 大橋通交差点

【委員会報告・会員発言】

明神 米山奨学委員長

残り3ヶ月となりました。米山奨学にご支援ご協力をお願いします。

富尾会員

今朝起こった江ノ村での火災は12時27分に鎮火しました。空気が異常に乾燥していますので火の取り扱いには十分にお気をつけください。

【新会員入会式】 推薦者 福原 紀夫会員

五藤 正志 1975年11月17日生れ(49歳)

住所：四万十市中村丸の内1832-196

勤務先：四国電力(株) 中村営業所 所長

趣味・特技：ドラマ鑑賞



職業分類/電力

所属/職業奉仕委員会

親睦委員会

北代所長の後任の五藤正志です。今後ともよろしくお願いいたします。



【本日のプログラム】 会員スピーチ 小松 昭二会員



「どっぶり高知旅」キャンペーン

皆さんこんにちは。今日は2024年から2027年の4年間を対象期間とした『極上の田舎・高知』をコンセプトとした「どっぶり高知旅キャンペーン」についてお話します。

近年、NHKの連続テレビ小説で、一昨年のも野富太郎博士の『らんまん』、そして今年の春から放映される『あんぱん』など高知県は何かと追い風に乘っているように感じます。高知県としてもこの勢いで、観光客に対して様々なキャンペーンを行なっています。『どっぶりキャンペーン』は、高知でしか味わえない上質な田舎体験という事で県内の各市町村の周遊プランを打ち出しています。

幡多圏内におきまして中心となるのは、やはり四万十川です。本流にダムがなく、196Km高低差の少ない大河で、生息する生き物も多様です。観光客が必ず訪れる沈下橋も観光用に造られたものではなく、住民の生活道で、まさに川と共に生きてきた流域の文化こそが価値となっています。

つまり、この恵まれた資源をより深掘りした提案で、4泊5日～5泊6日と、これまでより長く滞在して頂けるようなキャンペーンとなっています。

具体例としましては、カヌー体験はもとより、地元漁師と実際の漁具を使った伝統漁法を仕掛け、ウナギや川えび、ゴリなどを翌朝に漁獲する。また、沈下橋をはじめ四万十川独特の風景、川沿いのサイクリングメニュー、7人乗りのメガサップを河原に置き、ベンチ代わりにして清流に素足を浸けながらコーヒーを楽しむなど、ゆっくりと流れる「四万十時間」を過ごして頂きたい。まさ

にここだけの上質の風情を味わって頂けるメニューを考えています。

私は海外含め、四万十川の観光パンフレットを持って全国に営業してきました。まだまだ「一度は行ってみたい四万十川」というニーズはあるように感じています。ツーリスト頼みの団体客受け入れのみでなく、やはり個人、グループなど、この川の魅力や価値を味わいたい層の誘致に力を入れてきました。

カヌーや屋形船など、四万十川の定番の観光を楽しんだら、次は靴を脱いで、裸足で川に入って、伏流水を感じてみたり、地元住民に、川と共に暮らしてきた話を尋ねてみるのも魅力の一つだと思っています。

それに対して受け入れ側としても、本物の田舎の価値を磨く事も当然必要となってきます。四万十市のキャッチコピーは「川とともに生きるまち」となっています。つまり、四万十川は地域の貴重な宝ものとして認識し、この大河の恩恵を様々な分野で受けいることを忘れてはいけないと思っています。

もう一つ重要な事は、現在国内旅行市場が縮小する中で、新しい人に来てもらう従来型から、同じ人が連泊する事で、より深掘りした地元の本物の良さを知ってもらえると思います。

また、インバウンドに対しても、欧米豪の高付加価値志向にも通じる地元の深掘り商品を提案できた先に、本来のワーケーションとしての展開が広がっていくと考えています。

これまでの受け入れ観光から一步深掘りした四万十市で体験できる「どっぶり高知旅」は雄大な四万十川の自然と共に暮らしてきた地元住民の文化や温かさに触れる旅と言えます。残り3年間、キャンペーン成功のため、日々頑張っています

【ニコニコ箱】

山崎幹事：五藤さんご入会ありがとうございます。新会員スピーチお願いします。楽しみにしています！

一藤会員：五藤さん、入会おめでとうございます。

杉本会員：地区大会ゴルフコンペ、登録後に欠席する事になりました。すいません。

小松会員：父の葬儀に際し香典等お心遣いをいただきましてありがとうございました。

【出席報告】 ・会員総数59名（免除会員6名）

・本日の出席/35名 75.51%

・先週の訂正 M3 77.08%→83.3%